

## 児童虐待問題の 課題などを探る

川口で考える集い

児童虐待を考える集いが川口市内で行われ、「日本一醜い親への手紙」の編者で、児童虐待の問題に取り組んでいるフリーライターの今一先生さんが、インターネットの映像



「不思議の国のアリス」のアリスの装いで日本一醜い親への手紙に収められている一通を朗読する  
春詩未来さん（川口市内）

を通して講演した。

今さんは「日本にはまだ、家父長制の文化が残っている。家父長制を理解しないと、親がどれだけ権力者が理解できない。子どもの虐待に対する関心が薄く、子どもの親権をその親に独占させている。社会全体でシェアする必要がある」と持論を展開した。

今さんは、児童相談所が抱える課題にも言及。「児童相

談所の実態調査が1990年

から行われたが、初年度は約千件だった相談件数が2016年には約12万件と120倍に激増し、児童相談所は機能不全に陥っている。目の前にいる子を容易に救える仕組みにするため、民間でできることは山ほどある」と述べた。その上で、今さんは「子どもでも障害者でも病んでいても、無理なく稼げる起業教育を普及し、当事者が生活に希望を持てるようにする必要が

ある」と話した。  
(タウン記者・岡田隆)